

中山1200 ①④⑤着ゴールドベガサはまだまだ成長見込める

Table with columns for race numbers (16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), race names, and horse details including names, jockeys, and trainers.

重賞に昇格後の10年の馬連平均配当は1万8千円を超える

Table with columns for horse names, jockeys, and various performance statistics like speed and distance.

スピード十分で、距離短縮がむしろプラスになる公算大

Table with columns for horse names, jockeys, and performance statistics.

走力足りないが、先行すれば千六百でも善戦

Table with columns for horse names, jockeys, and performance statistics.

前走、同距離のOP特別勝ち

Table with columns for horse names, jockeys, and performance statistics.

勝切れないワキノブレイブ

Table with columns for horse names, jockeys, and performance statistics.

相棒の単複連

Complex block containing '本紙の見解' (Editorial), '千二〇〇Kのアルビアーノ', and '以展開' (Race Analysis) sections.



編集長の爪

阪神Rのチュリップ賞は桜花賞(4月10日)に向けた最重要なトライアル。

07年ダイワスカレット、09年ブエナビスタ、10年アパバネ、12年ジェンティルドナナなど、最近10年の桜花賞10頭のうち7頭がこのレース出走馬。

7頭のチュリップ賞の成績は②①②④③①③着。ここを勝つ必要はないが、本番に向け確かな手応えを得たい。

人気のジュエラーには、目下、重賞騎乗機会「5連勝中」。98年の武豊騎手に並び、JRA最多タイ記録を達成したM・デム1口騎手が乗る。

日曜の弥生賞でも人気のリオンデイズに騎乗するので、6連勝、7連勝もありえる。

M・デム1口騎手は、2月14日の京都記念から、先週の中山記念ドゥラメンテの日まで、5日間の成績【69422】。

メインの重賞以外は、27日の阪神でダク四の新馬を勝っただけ。ほぼ1日1勝ペースだからバリバリ勝っているわけではなく、メインだけ勝つという大胆な成績を残している。平場や名

中山リーディングジョッキー

(2016年2月28日終了現在)

Table with columns: 順位, 騎手名, 所属, ①特別, ②着, ③着, ④着, ⑤着, 着外, 対率, 通勝利. Lists top jockeys like 戸崎 (500 wins) and 横山 (2601 wins).

中山リーディングトレーナー

(2016年2月28日終了現在)

Table with columns: 順位, 調教師名, 所属, ①特別, ②着, ③着, ④着, ⑤着, 着外, 対率, 通勝利. Lists top trainers like 奥平 (201 wins) and 小島 (449 wins).

もない特別戦では、人気馬でもせいぜい②着止まり。午前中は流している...などというものは決してないが、メイン以外は「36戦1勝」である。

今週も買い方は難しい。ジュエラーは、12年のオシヤンスなど26戦【52217】だった牝馬ワンカラット(父フアルブラヴ)の7歳下の半妹。

姉は4重賞を制したが、そのうち3つが芝1200m。2戦しながら3番人気は0回。2戦時に72キロで出走し、5歳秋には最高54キロにまで達している。

妹はヴィクトワールピサへ早月賞、有馬記念、ドバイWCなど15戦【8124】の産駒。もう姉とは異なる距離適性を示しているから、2400mのオークスも平気だろう。

ただ、父ヴィクトワールピサも、半姉ワンカラットも、全成績が示すように勝つか、凡走かはっきりした馬で、②③着はめったになかった。

騎乗するM・デム1口の成績も現在、きわめて特異である。あっさり勝ってメジャーエンブレムの最大のライバルになるはずだが、血統背景や騎手からして、負けるときは②③着ではない危険はある。

(柏木)

競馬人情 吉川良

今週はチュリップ賞、オシヤンス、弥生賞だなと思うと、そろそろ冬も終わりだと感じるのだが、テレビに北海道の狂ったような吹雪が映り、「大丈夫?」「大丈夫?」

と北海道新冠の牧場長に電話をかける。「凄いわ。こんなのめずらしい。GI級!」

と声が返ってきた。中山競馬場のパドックでの寒さなど、屁みたいなものだよ。チュリップ賞でウオッカとダイワスカレットが戦ってから、何年が過ぎているのだろうか考えた。

おれ、そのチュリップ賞を

☆成績欄に前半3F時計☆

『各馬の前半3ハロン通過時計』を、成績欄の通過順の右横に表記しております。各馬のダッシュ力と比較、検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは、馬体重の横に「H」「ハイ」、M「平均」、S「スロー」のそれぞれマル囲み表記で示してあります。

なお、千メートルのレースについては、前半2ハロンの時計を表記してあります。また、障害戦、一部の公営競馬については計測できませんので省略してあります。

ね、浅草のウインズで見ていたのをおぼえている。そうだ、帰りにウインズに近い居酒屋の路上の席で酔っぱらっていたのをおぼえている。

おれ、おれ、まだ若かったな。チュリップ賞のブエナビスタを見て、強いなあと思つたから、何年が過ぎただろう。

いやあ、歳月の流れって、ウオッカやブエナビスタの脚より速い。人生はアツという間だ。え? そんなこと言うの、余計なお世話だ? ごめん。

第23回チュリップ賞。ウィンファビラスからジュエラーへ、シンハライトへ、レッドアヴァンセへの馬単。オシヤンスはハクサンムーンの復活に賭け、アルビアーノ、スノードラゴンへの馬単。



小本曾大祐

先週の中山は24レースで1番人気馬が14勝、②着2回③着6回。馬券圏内に入らなかつたのは2戦のみと好成績。今日も1番人気馬に◎が多く、先週の反動は日曜日からして下さい。

今日の狙いは⑩Rのブラックバゴ。成長分を考慮してもブラック30キロは、少し太めの造りでしたが、ひと叩きで状態一変。

調教では押さえるのに苦労するほどの手ごたえで、迫力満点の走りを見せ、気合のり・動きともに、ガラッと変わってききました。あと一歩、クラシック出走に届きませんでした。王道の重賞戦線を行ってきた素質。馬の体調が整った今回は、負けられない一戦になります。

『成績欄にチークPも表記』

今までのB(ブリンカシ)に加え、レースでのC(チークP)に着用も表記します。成績欄の最下段、1着馬名の前に「四角の白抜き文字」で◎と表示します。なお、今日のB着用は今まで通りの表記。チークPにに関しては事前の公式発表はありません。